令和５年度東海三県二市知事市長会議

日時：令和５年９月７日（木）13：40～14：50
場所：オークラアクトシティホテル浜松 ４階 平安

１　開　会

事務局長（浜松市企画調整部長）
それでは、ただ今から、令和５年度東海三県二市知事市長会議を開催いたします。
私は、本日、司会を務めさせていただきます浜松市企画調整部長の石坂でございます。よろしくお願いいたします。
本日は、名古屋市の河村市長でございますけれども、他のご公務によりまして急きょ欠席とご連絡をいただいておりますので、よろしくお願いいたします。
それでは、開会にあたりまして、開催市の中野市長から、あいさつをお願いいたします。

２　会長あいさつ

中野市長
ご紹介いただきました浜松市長の中野でございます。本日は、恒例となっております東海三県二市会議ということで、この３県２市の中では一番東ということになりますけれども、古田知事、大村知事、一見知事におかれましては、はるばるお越しをいただきまして、誠にありがとうございます。
私はこの５月から市長を務めさせていただいております。言ってみれば、この中では新参者でございますけれども、そういった立場で今日はホスト役を務めさせていただき、大変荷は重いのではございますけれども、これからはいろいろな形で、皆さまとはしっかり連携を取らせていただきたいと思っております。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。
本日は、台風の影響も心配されたところでございますけれども、今のところ東海地方は何とかもっているような状況かと思っております。ただ、先月もお盆時期に台風７号、なかなかの被害がございました。その前６月には台風２号の被害も遭ったわけでございます。
このように最近の頻発化、激甚化する災害という点でもそうですし、いずれ来るであろう南海トラフ地震もそうであります。そういった自然災害への備えといったような点でも課題、また取り組まなければいけないこと共通していると思いますし、加えて人口減少、少子化、高齢化という点においても共通するところが多々あるのは、この東海三県二市であると思っております。
もちろん各県さまざま特徴的な取り組みをされていることは、十分承知をしておりますけれども、そうは言っても地理的に似通っていて、気候風土も共通のところが多々ある東海

三県二市でありますので、連携をしてこういった課題に取り組むということも、ひとつまた重要なことではないかと思っているわけでございます。

ぜひとも、今後も連携を密にして、さまざまな課題に取り組むとともに、この東海三県二市のこの地域から、言ってみれば日本を盛り上げて行く。そんなようなこともできたらと思っているところでございます。

そういった中で、本日の会議のテーマは「観光」ということで設定をさせていただいております。2点議題を議論させていただければと思っておりますけれども、1点目は「選ばれる観光地づくりに向けた取組」ということでございます。新型コロナウイルス感染症が5類に移行いたしまして、この東海地方は観光客がだいぶ戻ってきている。そのような状況にあるわけでございますけれども、やはりさらなる誘客の推進に向けて、各県市の取り組みの共有、そして連携について意見交換をさせていただければと思っております。

また2点目は「映像コンテンツを活用した地域活性化・観光誘致の取組について」ということで議論をさせていただきます。近年は映画ですとかアニメですとか、そういったもののロケ地、モデル地、そこを巡ることで地域の活性化、そういったところにつなげていこうといった動きも見られるわけでございます。

とりわけ今年は、NHK大河ドラマ『どうする家康』、まさにこの地域が地元ということになろうかと思います。われわれ浜松も多くのお客様にお越しをいただいているわけでございますけれども、東海三県二市においては徳川家、織田家、さらには武田家、ゆかりの場所が数多くあるわけでございます。

大河ドラマに取り上げられた今年に限らず、そういった地域の資源、歴史・文化を活用しつつ、また、先ほど申しました映像、報道ということも大いに利用しつつ、こういったコンテンツを活用して観光を盛んにする。そんな取り組みも意見交換できたらと思っているところでございます。

東海地域、この観光もそうですし、それに限らず連携して取り組みを進めるということが地域の魅力を高める、国内外からの注目を集める、お客さまにお越しいただく、関係人口を創出する。そういったことで地域全体の一層の発展につながればと思っております。本日はぜひ活発なご議論をお願いいたします。

会議が終わりましてからは、『どうする家康』大河ドラマ館もご覧いただきます。これに限らず、浜松はいちばん東ではございますけれども、いろいろとおもてなしできることが多々ございます。見るところもございますし、食べ物もうなぎ、ギョーザなどいろいろございます。ぜひとも度々お越しをいただければと思っているところでございます。

それでは、本日、限られた時間ではありますけれども、有意義な会議にさせていただければと思います。どうぞよろしくお願いいたします。ありがとうございます。

事務局長（浜松市企画調整部長）

それでは、ただ今から会議を進めてまいりたいと思います。お手元の次第をご覧いただき

ながら、会議の座長につきましては、慣例により開催市の浜松市長とさせていただきます。
本日の会議につきましては、記者会見等の都合もございますので、14時50分の終了を予定しております。皆さまご協力をよろしくお願いいたします。
それでは中野市長、よろしくお願いいたします。

3　議　事
（1）　協議・意見交換

座長（中野市長）
それでは、座長を務めさせていただきます。円滑な進行に、ご協力のほどよろしくお願いをいたします。
議事に入らせていただきますけれども、本日の話題でございますが「選ばれる観光地づくりに向けた各県市の取組について」意見交換をさせていただければと思っております。
そのまず1つ目の話題ということで、お手元の次第にもありますとおり、「①観光地づくりに向けた取組について」を議論させていただければと思います。これにつきましては、三重県さんからご提案をいただいておりますので、まずは一見知事から提案の趣旨などご説明をお願いできればと思います。よろしくお願いをいたします。

一見知事
三重県知事の一見でございます。まずは中野浜松市長にお礼を申し上げたいと思います。中野市長のお力、また浜松市の皆さんのお力で、こういった会議を開いていただきまして、誠にありがとうございます。
私事で恐縮ではございますけれども、20 年ほど前、愛知県にあります中部運輸局の自動車部長をしておりましたときに、当地で最初のオムニバスサミットを開いていただいたことを記憶しておりまして、ビビットに思い出していたところでございます。本当にありがとうございます。
私どもから東海地域でございますが、非常に歴史も古く、先ほど昼食会のときに大河ドラマのお話も出ておりましたけれども、そういった舞台になる場所ということで、観光魅力には事欠かない所でございますので、観光地づくりにむけた取り組みについて提案をさせていただきました。
その趣旨は、これからは各県だけで観光を執行するというのは、あまりにも効率的ではないではないかと。周遊観光、それから体験型の観光、こういったことで多くの日本から、あるいは外国からも観光客を呼び込みたいということで、ご協力をお願いしたいということでお話を申し上げたいと思っております。
先ほど中野市長は、浜松は東の端とご謙遜なさいましたが、東海地方は浜松も含めて日本の真ん中にございます。非常に便利な場所ですし、日本国中から、あるいは外国から多くの

人に来ていただける場所にありますので、そういった意識で私は話をさせていただければと思っております。

私どもの資料ですが、三重県資料と書いてあります 2 ページ目をご覧いただければと思います。三重県の地図がありまして、そこにさまざまな観光魅力がございます。これは皆さんにご案内のとおりでございますが、伊勢神宮でございますとか、あるいは伊賀地方に行きますと伊賀忍者。これは先日私はブラジルに行かせていただきまして、伊賀忍者と三重県の地酒の宣伝をしてきましたが、非常に南米とかブラジルでも人気が高いというのがよく分かりました。

そういった観光の魅力もございますし、さらには鈴鹿サーキット、あるいはナガシマリゾート。鈴鹿サーキットは 9 月 24 日に F1 グランプリが開かれるということでございまして、日本の中でも、また世界的にも有名な観光地を多数抱えているところでございます。

3 ページをご覧いただきますと、コロナでインバウンド、それから国内旅行が低下しておりましたけれども、ここへ来て回復基調になってございます。夏は台風 7 号の影響もありまして、観光客の出足が鈍っておりましたけれども、コロナ前と比べると 9 割近くの回復になっておりますし、1～5 月につきましては、令和 3 年から令和 5 年で１．５倍（県内宿泊者）、令和 4 年から令和 5 年で 6 倍（外国人宿泊者）、コロナの途中からどんどん回復している状況でございます。

三重県としましては、観光関連予算を毎年増額をしてきておりまして、私が知事にならせていただいてから、令和 3 年度から令和 4 年度にかけては観光予算を倍増。さらに令和 5 年度予算は、令和 4 年度の 15 パーセント増ということで伸ばしておりますし、体制の強化をしていまして、観光局を格上げしまして「観光部」ということでやらせていただいております。それも元々観光によって人を呼び込んで、経済を活性化したいという思いでございます。

4 ページをご覧いただきますと、これから何が控えているかということでございますが、私どもで申し上げますと、この間 6 月に「G7 交通大臣会合」を開催させていただきました。また、来年度は「熊野古道の世界遺産登録 20 周年」、さらにその先は「EXPO2025 大阪・関西万博」。これは関西パビリオンの中に県のブースを出させていただきます。さらに「東海環状自動車道」、岐阜県さんと三重県がつながるというようなイベントもございますし、それから「愛知・名古屋アジア競技大会」がございまして、多くの外国人がおいでになると。さらには 2033 年に「神宮式年遷宮」がございます。そして 2037 年には東京から大阪までリニアがつながるというイベントがございます。

そういったものを見据えまして、私どもはこの 4 月に観光指針というのを出させていただき、さらに今、観光基本計画というのを作っているという状況でございます。

何を主としてこれからやっていくか。5 ページをご覧いただきますと、まず直近のものとして、9 月 16 日に東京にあります日本橋ですが、「三重テラス」というアンテナショップ、これを 10 年ぶりということでリニューアルオープンをいたします。さまざまなイベントを

打ってまいります。三重県をハイライトして際立たせていきたい。こう考えております。
　また、今までやってなかったのですが、東京の新宿とか大手町駅に交通広告を常時、恒常的に掲出をいたしていますし、それから大阪・関西万博では、三重県ブースで三重県をアピールしていきたいと。
　6 ページにまいりますと、先ほど中野市長のお話にも大河ドラマのお話がございました。今日も『どうする家康館』を見せていただけるということでございますけれども、三重県でも服部半蔵「伊賀越え」が出てきております。多くの方にまた忍者というのを再認識していただいて、来ていただきたいと思っておりますし、来年の大河ドラマは『光る君へ』ということでありまして、三重県には斎王（さいおう）という皇族の女性が、伊勢神宮の対応をするために、斎宮（さいくう）というミニ宮中というんでしょうか、それが置かれているものがございまして、その史跡もあるわけでございます。そこが舞台に出てくるといいなと、わたくしどもも期待しているわけでございますが、『伊勢物語』でも有名な斎宮・斎王をプレイアップしていきたいと思っています。
　さらには紫式部のライバルと言われていました清少納言ですね。『枕草子』の中に三名泉「ななくりの湯、有馬の湯、玉造の湯」ということで記載をしました榊原温泉。これが「ななくりの湯」でございまして、こういった所も訪れていただきたいと思っているところでございます。
　7 ページを見ていただきますと、そういった歴史的なものだけではなく、自然環境、伝統技術、これも三重県では、他県と同様に素晴らしいものがございます。デンマークにノルディスク（Nordisk）という会社がございまして、ここがゴージャスなキャンピング、グランピングの施設を世界に展開しております。確か日本では 3 つだったと思いますが、そのうちの 1 つが三重県にございまして、いなべ市という所でございます。見てまいりましたけれども、多くの外国人がおみえになって、ノルディスクファンの方が世界中を巡っているようでございまして、これも高所得者の、富裕層の観光の一環として、私ども進めて行きたいと思っておりますし、さらに右側を見ていただきますと、東海道の宿場町にあります関宿で、桶づくりを体験していただく。これからの観光は、購入観光というよりは体験型の観光に移っていきますので、こういったもので上げていきたいと思っているところでございます。
　最後、結論でございますが、8 ページでございます。三重県だけでは多くの観光客に来ていただくわけにはなかなかいかないと思っています。この観光客に満足いただくためには、さまざまな観光コンテンツを巡っていただく必要もあるだろうということで、今回ご参加いただいております皆さんと、観光で連携をしていただくとありがたいなと思いまして、提案をさせていただいた次第ございます。
　以上でございます。

座長（中野市長）
　ありがとうございました。

一見知事からご説明いただきましたけれども、この先何が開催されるかとスケジュールを落としてみますと、毎年かなりのビッグイベントがあるわけでございますので、ぜひそういった機会に、地域の観光コンテンツの磨き上げを地域で連携して行うことによって多くのお客様に来ていただける、そんな地域になってくるのではないかという気がしているところでございます。

それでは、ただ今、一見知事からご説明をいただきました「観光地づくりに向けた取組について」、これに関連をいたしまして、各県の取り組みなどについて、順次ご発言をいただければと思っております。愛知県、岐阜県、浜松市の順番で進めたいと思いますので、まずは大村知事からお願いをいたします。

大村知事

ありがとうございます。それでは、私ども愛知県の資料をご覧いただきながら、お聞きをいただければと思っております。

表紙にあります「ジブリパークのある愛知」というロゴを作って去年からやっております。1 ページ開いていただきますと、まずは国内外の旅行者から選ばれる観光地づくりということで、ジブリパークを去年 11 月に第 1 期開園いたしました。左側の 3 エリアですね。

先般、今後のスケジュール発表をさせていただきましたが、『もののけ姫』のエリア、「もののけの里」は、今年の 11 月 1 日に開園するということ。それから一番大きなエリアである「魔女の谷」は、来年 3 月 16 日に開園するということで、約 2.9ha、ここが一番遊園地らしいですけれども、『魔女の宅急便』『ハウルの動く城』などの建物を再現するといったもので、多くの方にお越しいただきたいと思っております。

全体がオープンした場合の波及効果と言いますか、ジブリパーク来園者数は約 180 万人と推計しておりますが、控えめに言っております。しっかりとこれを進めていければと思っております。

2 ページでございますが、ジブリパークを活用した周遊促進ということでございまして、こうした特設サイトを作ったり、ジブリパークを発着とした県内周遊モデルコースなど紹介パンフレットを作ったり、首都圏、関西圏などへの PR といったこともさせていただいております。

この PR ビデオは、スタジオジブリが初めて手掛けた観光動画で、「風になって、遊ぼう。」というものでございます。愛知県のサイトでオープンと言いますか、提供をしておりますので、またご覧をいただければと思っております。

それから 3 ページが大河ドラマ『どうする家康』ということでございまして、観光推進協議会を設立し、さまざまな PR 施策をさせていただいていますが、岡崎には大河ドラマ館がございますが、岡崎公園の中にありますので非常に好調ということということでございます。私どもは名古屋市と一緒になって、名古屋城の前の金シャチ横丁の所に、エリア的にはそんなに広くありませんが、大河ドラマ展というものを 7 月から行わせていただいていると。9

月の終わりぐらいまでということでございますが、しっかりとPRをさせていただきたいと思っております。

4ページでございますけれども、「海外向けの誘客促進」ということでございまして、観光プロモーションでは、7月にフランスで開催された日本の文化を紹介する「Japan Expo」でジブリパークの紹介など、愛知県の魅力の発信をさせていただきました。

また、今日から10日まで本県で開催される日台双方の観光業界のトップが集う「2023日台観光サミットin愛知」というのをやっております。今日の夕方、歓迎レセプションをやりますので、この後新幹線で帰って午後6時からの対応をしていきたいと思いますが、そうしたことでまたPRをしていければと思っております。

5ページをご覧いただきたいと思います。「アジア競技大会・アジアパラ競技大会の関係」ということでございます。アジア大会・アジアパラ大会は4年に1度、ちょうどオリンピックの中間年ということであります。本当は去年やる予定でありましたが、開催地が中国・浙江省の杭州でありまして、コロナということで1年延期で、この9月、10月ということで、この後私も現地へまいりまして、アジア大会・アジアパラ大会、それぞれに旗をいただいて来なければいけないので行ってきますけれども、これが終わりますと、いよいよ次3年後2026年の9月、10月が、アジア大会・アジアパラ大会、愛知・名古屋大会ということでございまして、これをしっかりと盛り上げていきたいと思っております。この機会を逃さず、韓国・中国・台湾・香港の旅行会社に対しまして、ツアー造成などを働きかけるほか、現地の各メディア、SNSを通じて観光地としての魅力をアピールしていきたいと思っております。

6ページは「MICE（マイス）の推進」ということでございまして、ちょうどコロナ前でございますが、2019年8月に中部国際空港島に開業をいたしました、愛知県国際展示場「Aichi Sky Expo」におきましてMICEの推進をさせていただいております。来年3月には、ヨーロッパ最大の総合的な産業展示会「Global Industrie」の日本版、「SMART MANUFACTURING SUMMIT BY GLOBAL INDUSTRIE」を開催するということにいたしております。これは日仏合作の展示会ということでありまして、今着々と準備を進めているところでございます。

というのは、Aichi Sky Expoの運営の中心を、フランスの「GL events」という会社にやっていただいておりますので、その関係でどんどん盛り上げていきたいと思っております。

7ページ、8ページは「休み方改革」ということでございまして、これは全国知事会でも「休み方改革プロジェクトチーム」を作らせていただきまして、今38、今般、東京都さんが入っていただきまして39都道府県ということで参加をいただいております。今年度から私どもは、7ページにありますように、休み方を変えていこうということで、11月27日が愛知県創立記念日なので、11月21日～27日までの1週間の間にどこかで、小中高、学校を休んでもらう「あいちウィーク」ということを今年度からスタートさせます。

愛知県内のすべての県立高校はもちろんですが、私立の高校も80パーセントが参加をし

てくれて、平日 1 日休みを作っていただく。小中も各自で皆さんそういった形で取り組んでいただけるということで、平日にみんなと互い違いに休んで、校外学習をやっていこうという趣旨でございます。

それから「ラーケーション」という、家族と一緒に休んでそれを欠席扱いしないという仕組みも、今年度からスタートさせているということでございます。そうしたことを広めていきたいと思います。ぜひ全国知事会でもこれを提唱しておりますので、そうした形で各県別々に平日に休んで行きっこするというのが、非常に観光の活性化にいいのではないかと思っております。

最後 8 ページが、それを PR させていただき、星野リゾートの星野代表とも対談し、コマーシャルにも出させていただきました。お出かけをするなら空いている平日に遊んでいただきたい、行っていただきたいということで、「あいちスキ旅キャンペーン」というのをやっておりまして、現在、171 の県内観光施設から、平日や閑散期における料金の割引等の特典を提供していただいておりまして、そうしたことを PR させていただいております。

ということでございますので、引き続き皆さんと連携をして、しっかりやっていきたいと思います。よろしくお願いいたします。

座長（中野市長）

大村知事ありがとうございました。

続きまして、古田知事からお願いをいたします。

古田知事

まず中野市長、大変お世話になります。ありがとうございます。浜松市の皆さんにもお礼申し上げます。

最初のテーマが「選ばれる観光地づくり」ということですけれども、私どもいろんな観光施策をやっておりますけれども、特に前に「選ばれる」という修飾が 1 つ付いておりまして、「世界に選ばれる観光地にする」というところを、徹底して追究していこうということでございます。

お手元の資料をご覧いただきますと、まず岐阜県の 1 つの特徴としては、インバウンド比率が高うございまして､2019 年でいきますと 23 パーセントということでございまして、これは全国で京都、大阪、東京、北海道、沖縄に次いで第 6 位ということでございます。

このインバウンドでございますが、この表にありますように、2019 年の 166 万人から 2020 年が 29 万人、2021 年が 3 万人、2022 年が 12 万人ということで、壊滅的な影響を受けたということでございます。書いておりませんが、2023 年の 1 月から 6 月で 46 万人ということで、今年 1 年間では 100 万人を超えるところまでは行けるだろうなとは思っておりますが、私どもの当座の目標としては、2027 年の 200 万人を目標に、インバウンドについて積極的に取り組んでいこうということでございます。

その場合に、1つ課題と言いますか、気になりますのは、セントレア空港の回復が遅れているということでありまして、今年の夏ダイヤを見てみますと、2019年と比べますと34パーセントでございまして、羽田の98パーセント、成田の62パーセント、関空でも49パーセントございますので、セントレアのダイヤの回復の遅れというのが、このインバウンドの回復においては、少し私どもとしては気になるところであります。

このところ7月、8月と立て続けに、4年ぶりのトップセールスに出かけておりますけれども、私どもとしては、人間は動けないけれどもモノは動くと。情報は動くということで、コロナ禍でも積極的な観光施策をやってきたつもりでありますが、それなりに手応えを感じているところでございます。

トップセールスもこれまでは「食・モノ・観光」三位一体ということで魅力発信を心がけてきましたけれども、ここへ来ていろいろまわっておりますと、やはりコロナ明けということもありますが、「文化・芸術・スポーツ・青少年交流」と幅をさらに広げていくと言いますか、広がりつつあるということを感じておりまして、実は私どもは来年、国民文化祭がございますので、国民文化祭というと主催地および国内の文化を発信するということでございますけれども、私どもとしては当初から、「世界に開かれた国民文化祭」ということで、これをきっかけに文化の国際交流を、1つの国民文化祭のテーマとして取り入れていきたいと思っているところでございます。そうした諸々のことが世界に選ばれる観光地づくりにつながっていくのではなかろうかということでございます。

それから、サステイナブル・ツーリズム、今の世界の基本的な目指している方向でありますが、私としてはユネスコの無形文化遺産に、昨年10月に「郡上踊」と「寒水の掛踊（かのみずのかけおどり）」が選ばれましたし、ここ3年立て続けに、世界の持続可能な観光地100選に入ってきておりまして、2020年が「白川村」、2021年が「長良川流域」、2022年が「下呂市・下呂温泉」ということで、これは「Green Destinations（グリーン・デスティネーションズ）」という国連関連の国際認証機関でございますが、こういった所で選ばれていくということが、1つの目指すところとしてやってございます。

これに倣いながら岐阜県内のサステイナブル・ツーリズムとは何ぞやということで、「NEXT GIFU HERITAGE（ネクスト　ギフ　ヘリテージ）」、岐阜未来遺産という制度を作りまして、飛騨小坂、恵那岩村を選んだところでございます。

この認定条件につきましては、サステイナブル・ツーリズムの国際基準がございますが、この基準にさらに岐阜らしさを加えていくということでやって来ておりまして、ちょっと紙に書いてなくて恐縮でございますけれども、基本は持続可能なものであること。国内外からの誘客が期待できること。将来的に国際的な評価の獲得を目指すこと。ということにしておりまして、具体的には、地域住民を含む地域の受け皿体制が整っていること。一定の滞在期間、観光消費を見込めるコンテンツが、しっかりと提供されていること。岐阜らしい魅力、他の地域にない魅力があること。観光が与える地域への負の影響というものもしっかり捉えて、いわゆる観光公害がありますが、それに対する対策が行われる。そういったような条

件を一つ一つ丁寧に意識し「NEXT GIFU HERITAGE」という制度をスタートしたところでございます。

中野市長がしきりに浜松は外れとおっしゃっていましたけれども、まさにこの東海地域の東の中核であるわけでありますし、こうした選ばれる観光地づくりにとりましても、広域性、周遊性、一見知事がおっしゃることがまさに大事でございまして、そういう意味では東海地区全体が連携して、1 つの大きなゾーンとして選ばれるエリアになっていくということで、お互いに協力していけたらと思っているところでございます。

私からは以上でございます。

座長（中野市長）

古田知事、ありがとうございました。

それではここで、本日、河村市長は残念ながらご欠席ではございますけれども、名古屋市さんから資料をお配りいただいておりますので、ご発言があればよろしくお願いします。

名古屋市

名古屋市でございます。本日、市長は出席の予定でございましたけれども、急きょ公務がありまして、欠席させていただくことになりました。申し訳ございません。

お手元に資料を置かせていただいておりますので、お目通しいただければと思います。よろしくお願いいたします。

座長（中野市長）

ありがとうございました。

それでは、最後にわれわれの浜松市からもご報告をさせていただきます。お手元の資料 1 ページ目からご覧いただければと思います。浜松市の観光の状況でございますけれども、コロナが始まってから、観光交流客数が半分に落ち込んだということでございますし、2 ページの外国人の宿泊客数で言いますと、コロナとともに蒸発してしまったと。そんなような状況でございました。

ただ、コロナが 5 類にということで状況が変わりまして戻って来る。そのタイミングで 3 ページ目にありますとおり、今年は大河ドラマ『どうする家康』。われわれ浜松も徳川家康公が 17 年間お過ごしになった所でございますので、まさに地元ということで、この大河ドラマの効果を最大限に生かしまして、観光をもう一度取り戻す。加えてその『どうする家康』効果を長続きさせる。そんなような取り組みをさせていただいているところでございます。

3 ページにございますとおり、ドラマが始まるとともに、「東海プレミアリレー」ということで、主演の松本潤さんをはじめとする出演者の皆さんに、静岡、浜松、岡崎を巡っていただいて、トークショー、あるいはパブリックビューイングに至るまでやらせていただいたわけでございますけれども、その際にわれわれの所では記念植樹をしていただきまして、こ

の木が大きく育っていくことを、ファンの皆さんにもこれから先見ていっていただければ、そんなようなこともさせていただいているところでございます。

次の4ページにまいりますと、これは犀ヶ崖（さいががけ）という三方ヶ原の戦いの激戦の舞台になった所があるのですけれども、そこの地に平和を祈念する記念碑を、大河ドラマ出演の皆さんとともに建立をさせていただきまして、これもまた『どうする家康』の効果を後にまで引き継げるように、そういうふうなことで考えております。

5ページをご覧いただきますと、5月5日の浜松まつりの際に行いました松本潤さんをはじめとする出演者の皆さんの騎馬武者行列ということになっております。これのおかげで浜松まつりも、過去最高の人出を記録させていただいたわけでございます。

これによりまして、例年やっている浜松まつりではありますけれども、また全国的にも注目していただき、来年からも多くの方々にお越しをいただけるのではないかと考えているところでございます。

6 ページにまいりますと、『どうする家康』で浜松に注目をいただいたその流れを引き継ぐようにということで、来年は浜名湖花博20周年記念事業ということで、「浜名湖花博2024」と題しまして、はままつフラワーパーク、浜名湖ガーデンパークでイベントを予定しております。

大河ドラマをきっかけにして、改めて多くの皆さんに浜松、そしてこの東海地域に注目をしていただける。また、多くの方に来ていただける。そんな流れを作っていきたいと思っております。

また、先日、私は台湾へ行ってまいりまして、この浜名湖花博の宣伝などをさせていただきました。台湾の方々は非常にお花が好きだということですので、非常に興味・関心を示していただきました。ぜひセントレアから入って、この東海地区を回って浜松浜名湖花博にもお越しいただきたいという宣伝をしてきたわけでございます。

そういった中にありまして、先ほど古田知事からもお話しがございましたけれども、セントレアの国際線がまだ状況がよくないと。不便な状況が続いているというようなこと言われました。ぜひともまた連携をして、国際線のセントレアの誘致、そういったことも取り組みたいというようなことも考えているところでございます。

最後の 7 ページ、インバウンドの回復といったことについても、われわれ取り組んでいるところでございます。独自の補助制度なども作っているわけでございますけれども、当然インバウンドの皆さん、われわれ浜松の所にだけ来るというわけではございませんので、ぜひこの東海地域全域を周遊していただけるように、そういった流れも皆さんと一緒に作っていけたらと思っているところでございますので、どうぞよろしくお願いいたします。

以上でございます。

それでは、各県・市からの発表は以上でございますけれども、これについて意見交換をさせていただければと思います。どなたからでも結構でございますので、ご発言があります方

はお願いをいたします。
　エアラインの国際線の誘致は、一見知事が一番お強いかと。

一見知事
　私は今年の 1 月に台湾に行ってまいりまして、中部国際空港の社長さんと一緒に、向こうでも観光誘致をやらせていただいたところでございます。国際線はだいぶ戻ってはきているのですけれども、中部の戻りがもうひとつというのが、グランドの対応能力の戻り方がちょっというのもあるのかもしれませんけれども、中部地域はものづくりの本場でございますので、観光もありますけれども、産業的なものも含めて空港活用を図っていきたいと思っているところでございます。
　また、中部国際空港は大村知事が非常に熱心にやっていただいていまして、空港の活性化をこれから進めていくところでございますので、地域一丸となってもり立てていきたいと考えておりますけれども。

座長（中野市長）
　大村知事どうぞ。

大村知事
　中部国際空港の国際線の復便でございますけれども、グランドハンドリングの人材が足らないと。戻って来ていないということで、特に東アジア、東南アジア、また中国からも復便の申し入れはあるのですけれども、要は断っていると。受けられないというのが今の実態であります。
　私ども一生懸命、そうした関係の所、エアラインからグランドハンドリングの会社等々にも、なんとか人を確保してくれという話をさせていただいておりますし、あと中部国際空港株式会社の方もそうした面でもやっておりますけれども、残念ながらまだまだ十分でないという状況でございます。
　確かエアライン会社の方はまずは羽田に人を集めて、ですから羽田は便数が 100 パーセントというかコロナ前を超えたということを聞いておりますし、次は成田と関空だと。中部は一番最後だとか、こういう話になっていますので、そこを何とか早く回復に向けて取り組んでほしいということをまた引き続きやっていければと思っております。
　それと今日この会議の後に、私は名古屋で 6 時から「2023 日台観光サミット in 愛知」というのを、これは日本と台湾で行ったり来たりでやっている、今年は日本で愛知県の方で受けるということになっておりまして、夜は歓迎晩餐会をさせていただきますが、向こうからは台北駐日経済文化代表処の代表、それから交通部観光局の副局長、それから台湾観光協会の会長、交通部観光局の国際部長、台北駐大阪経済文化弁事処の処長、高雄市政府の観光局長とか、チャイナエアラインの上級副社長、あと日本からも日本観光振興協会会長さん、日

本旅行業協会の会長さん、皆さん来られるそうで、国際会議は明日やりますので、またしっかり中部地区全体でということを、しっかり PR をさせていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

座長（中野市長）
　ありがとうございます。
　他にいかがでございましょうか。古田知事、よろしいですか。
　時間の都合もありますので、この辺にさせていただきたいと思いますけれども、各県、市からの発表・ご発言の内容を踏まえて、これから東海三県二市、インフラの整備、観光地の整備、いろいろなイベントが目白押しでございます。そういった中にあって、観光資源の磨き上げということも各県で進むと思っておりますし、さまざまな形で情報発信も進むと思っております。
　そういった中にありまして、ぜひともこの東海圏、圏域として世界の皆さんから選んでいただける、選ばれる観光地づくりに進むように、国内外からの誘客を目指して、今後開催されますイベントをはじめとするさまざまな情報を、ぜひともこのメンバーに共有をさせていただいて、相互に情報発信をしていけたらと思っております。そのようにさせていただくということでよろしいでしょうか。

　＜異議なし＞

　では、今後そのようにさせていただければと思いますので、よろしくお願いをいたします。
　続きまして、2 番目の議題でございます。「映像コンテンツを活用した地域活性化・観光誘致の取組について」ということでございます。これについては提案を浜松市からさせていただきましたので、まずは私どもから説明をさせていただきたいと思います。浜松市の資料をお開きいただきたいと思います。
　最初のページでございます。われわれ浜松におきましては、だいぶ時間がたつのですけれども、ここのところフィルムコミッション（FC）の取り組みというのを進めております。なにぶんわれわれ浜松市は、市町村の中では高山市に次いで、全国で 2 番目に広い市ということもございまして、山があり、川があり、海があり、湖がありということで、いろんなシチュエーションがそろっているというのもございますので、そういったロケーションを生かして、映画、そういったものに合法でのロケをしていただけるようにということで、さまざまな取り組みを進めてきたところでございます。
　直近でいいますと、昨年度 2022 年度は全国規模のロケの支援ということでは、109 件の支援をさせていただいたということでございます。それに伴いまして、浜松のここというのが映画上で重要な場面だったり、そういうことが多々出てきておりまして、そういった関心のある皆さんから聖地巡礼のような形でこの浜松にお越しいただける。そんな機会にも最

近はつながってきているという状況にございます。

　また、次のページにまいりますと、フィルムコミッションの連携強化で誘致・支援を加速ということで、とりわけこのところアニメツーリズムみたいなことも、盛んにさせていただいているわけでございます。アニメの場合、リアルの映像ではないですけれども、背景を含めて浜松が舞台だということが何となく分かるような作品、あるいは明確に明示的に浜松を舞台にさせていただきますというような作品も、多々作っていただいているわけでありまして、まさに多くのファンの皆さんにもお越しいただいているというところでございます。

　こうしたフィルムコミッションを通じた取り組みというのは、なかなか一朝一夕にいかないと言いますか、映画づくり、制作の皆さんと信頼関係を長い時間をかけて築いて行くということが重要だと思っておりまして、やっと最近われわれとしても花開いてきたというところではあるわけですけれども、フィルムコミッションは今全国的に展開が進んでおり、お互いの切磋琢磨はもちろん、広域的な連携というのも非常に重要になってくるかと思っております。

　浜松はフルセットでいろいろそろっているとはいえ、港でありますとか大都市の景色、あるいは里山とか、そういった景色、ロケ地というのは十分にそろっていないというところもございますので、ぜひともまたフィルムコミッションで各県市の皆さんともしっかり連携を取らせていただきまして、この地域全体として見ればいい映画、いい作品、必ずやできると思っておりますので、ぜひとも連携のうえ、こういった誘致、そして展開を進めさせていただければと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

　まず私どもからはそのようなことを申し上げさせていただいたうえで、各県からもご発表いただければと思います。先ほどと順番を逆にしたいと思いますので、古田知事からお話しをいただければと思いますので、よろしくお願いいたします。

古田知事

　映像コンテンツを活用した地域活性化・観光誘致というのは非常に、浜松市から良いテーマを取り上げていただいたわけでありますけれども、私どもの資料をご覧いただきますと、いろんなものを、ここは同様でありますけれども撮っておりまして、比較的最近の例がここに書いてありますけれども、平成 30 年の『半分、青い。』、NHK の朝ドラですね。これは東美濃地域の方々が集まって、活用推進部会とかを作っていろいろプロモーションをやっていただきました。

　それから NHK との関係で、どこでどういうロケをやったといういろいろとロケ地のご紹介などをしたわけでありますけれども、この年の第 9 回ロケーションジャパン大賞のグランプリを獲得いたしまして、右上の写真が東京でありましたグランプリの表彰式で、私が頂きに行ってきましたけれども、この時の準グランプリが大河ドラマの『西郷どん』でございまして、桜島の風景とこの『半分、青い。』の恵那の風景とどちらがロケーション大賞を取

るか、そういうことだったようでございます。

令和２年が『麒麟がくる』でありまして、明智光秀という人が県内を転々としておりまして、ゆかりの地が８つの市町にあるということで、８つの市町による『麒麟がくる』推進協議会を設置しまして、史跡サインの統一や、土産物開発。土産物開発は結局1000種類にわたる土産物開発がございました。写真にありますが、これは「下剋上鮎」というクッキーでありまして、しっぽのようになっている部分は鮎です。鮎が鵜を食べている。通常は鵜が鮎をのみ込むわけでありますが、下剋上で鮎が鵜をのみ込んでいる姿のクッキーで、いまだによく売れております。

それからNHKとの交渉でドラマ館を３つ置かせていただいて、コロナ禍ではございましたけれども、こういうふうなキャンペーンをやらせていただいたといことでございます。

それから３番目は、昨年、『THE LEGEND ＆ BUTTERFLY』ということで、通常の「ぎふ信長まつり」の騎馬武者行列に木村拓哉さんと伊藤英明さんが出演をするということで、岐阜市の人口40万人でございますけれども、応募が85万人、当日は46万人ということで、何とか無事に終わりましたけれども全国的なニュースになりまして、こうしたドラマなり映画なり、そういったものと伝統的な行事とがうまくマッチすると、これだけ大きな反響になると。

昨年１年間の十大ニュースの中で、この地域の方々は明るいニュースとしていの一番にこの「ぎふ信長まつり」のキムタクさんの行列参加を挙げておりました。そういう意味では、大変暗い中で明るいニュースを提供したというこということでもございました。

それから直近が『どうする家康』でございまして、愛知、静岡、岐阜で３県連携協議会を作っていただいておりますけれども、そこでデジタルスタンプラリーとか、３県を巡る旅行商品の造成とか、まさに周遊観光促進ということでやらせていただいておりますけれども、伊賀越えもありますので、三重県さんにもお入りいただいて、さらにまた周遊の幅を広げることが大事かなと思っております。

あと映像で言いますと、去年１年間でテレビドラマの『最高のオバハン中島ハルコ』とか、『ポケモンGO』とか『孤独のグルメ』とか、非常にたくさん岐阜を舞台にしたものがございまして、まさにそういうふうな舞台になることによって地域が元気になって、あるいは地域を磨こうとするということで、これはすごく重要な契機かなと思っておりますし、映像というアニメというとあれかもしれませんけれども、アニメツーリズムというのは結構大事でありまして、すでに皆さんからご紹介ありましたけれども、今回ポーランドへ行ってきましたけれども、ポーランドのクラクフに北斎の切り絵を集めた日本美術技術博物館というのがありまして、そこに北斎漫画がある。一方、恵那市は中山道広重美術館があるということで、漫画といってもいわゆるアニメではなくて浮世絵ですけれども、そういったものの交流をというような話もありますし、それからアルザスのコルマールでは、あと2、3年たちますとアルザスマンガミュージアムというのができます。今はそこの入り口の所に、ジブリが飾られておりまして話題になっておりますけれども。

岐阜県でいきますと少し前に『君の名は』を始め、3 つのアニメが登場して、平成 28 年ですけれども、1 年間でアニメ聖地巡礼と称して 100 万人を超える人が 253 億円を落としていったというデータがございまして、アニメを含めた映像コンテンツの活用というのは大変面白い、かつ若い人にとっては参加しやすいプロジェクトかなということで、しっかり磨いていきたいと思いますので、よろしくお願いします。

座長　中野市長
古田知事ありがとうございました。
続いて大村知事からお願いいたします。

大村知事
ありがとうございます。
古田さんこの下剋上鮎というのはクッキーか何かですか。

古田知事
クッキーです。

大村知事
何だろうなと思ったのですが。

古田知事
これがまた人気があるわけです。

大村知事
クッキーなんですね、なるほど。それから先ほど言われたアルザスのコルマール、あそこがジブリの『ハウルの動く城』に出てくる街並みのモデルだというふうに、現地では伝えられているんですよね。だから『ハウルの動く城』がフランスで非常に人気が高いと。

古田知事
マンガミュージアムの玄関の所はもうできています。中もこれから。

大村知事
そういう意味でまた楽しみだなと思います。ありがとうございました。
それでは愛知県から申し上げたいと思います。「映像コンテンツを活用した地域活性化・観光誘致」ということで、資料をご覧いただきたいと思いますが。資料 1 ページでございます。愛知県では「愛知県フィルムコミッション協議会」を 2014 年 8 月に設立して、12 団体

の地域フィルムコミッション、各地区・各市が作っておられるということでございますが、それから市町村にも参画をいただいて、広域にわたるものなども含めて、いろんなものを窓口にして取り組ませていただいております。
全国ロケ地フェアへの出展とか、製作会社へロケ候補地のセールスを行うとともに、そうしたロケ地の問い合わせの情報の展開でありますとか、撮影の立ち会い、各種許可手続き等の仲介といったことで、県内各地でのロケ撮影の直接支援を行っているということでございます。併せてロケ地マップの作成やパネル展の開催などで、撮影地となった県内各地の情報の発信ということもやっております。
2 ページでございますが、その実績等でございます。2014 年の協議会設立以来、今年 8 月末までに 668 件の問い合わせがあり、226 件の撮影支援に取り組んできたということでございます。2014 年『ビリギャル』から劇場版『MOZU』『LEADERESⅡ』『陸王』『ゾッキ』、最近では『マリッジカウンセラー』『異動辞令は音楽隊』、それから今話題の堺雅人さん主演のテレビドラマ『VIVANT』、こういった形の実績でございます。
その中でも特に蒲郡市が舞台で撮影された映画『ゾッキ』は、監督が竹中直人さん、山田孝之さん、斎藤工さんの 3 人が出演ではなく監督をやっていただいて、なかなか面白い映画でございましたが、撮影を通じてこの 3 人の大俳優の皆さんが愛知県のことを好きになっていただいたこともありまして、2021 年度は愛知県観光文化大使として PR をいただいたということでございます。
今後も愛知県フィルムコミッション協議会をしっかり活動して、また愛知県内を盛り上げていければと思っております。以上です。

座長　中野市長
大村知事ありがとうございました。
続いて一見知事お願いいたします。

一見知事
ありがとうございます。
それでは、三重県の資料で話をさせていただきたいと思いますが、先ほど古田知事から『どうする家康』の連携についてお話をいただきました。残念ながら三重県はまだ入れていただいておりません。ぜひ入れていただいて、アネックスという形でも結構でございますが、三重県の場合は伊賀越えがございますものですから、インパクトとしては結構あるのではないかと思いますので、またよろしくお願いを申し上げたいと、これから真剣にご相談をさせていただきたいと思っております。
三重県の資料の 2 ページ目をご覧いただきますと、三重県内フィルムコミッション 11 団体ほどございます。三重県は古い歴史的な建物が残っております所がございますし、海とか志摩で言いますと灯台とか、そういった所で映画撮影が進んでおるところでございます。

2ページ目の右側に、県内の撮影された絵が挙げてございますが、実は三重県などで撮影された『THE LEGEND ＆ BUTTERFLY』。浄土真宗の3番目に信者が多い高田派というのがございますが、高田本山と私も呼んでおりますけれども、専修寺（せんじゅじ）という所で、これは国宝で木造では5番目ですか、大きな建築物でございます。そこで撮影をされたということでございます。それ以外でも『浅田家！』でございますとか、『WOOD JOB!』も撮影をされております。

3ページをご覧いただきたいと思います。目黒蓮主演、今田美桜共演ということで話題になりました『わたしの幸せな結婚』。若い方がたくさんご覧になったということでございますが、これも三重県で撮影をされておりまして、私どもで特設サイトも作りましたし、ロケ地になりました桑名市・津市と共同でロケ地マップ、お手元に開いていただくとA3になります資料がございます。これはかなり多くの方にご覧いただいて、また聖地巡礼ということで見に来ていただいております。

先ほど申し上げました『THE LEGEND ＆ BUTTERFLY』の舞台にもなっております専修寺というところでございますけれども、これは国宝の御影堂と如来堂というのがございまして、こちらを見に来ていただいておりますし、右を見ていただきますと桑名でございますが、六華苑でございます。これはイギリス人の建築家で鹿鳴館を設計した人で有名なジョサイア・コンドルでございますが、彼が設計をしました洋館と和室、日本の建物が融合した非常に珍しい建物でございましたが、ここが舞台に使われています。

ちなみにジョサイア・コンドルですけれども、鹿鳴館以外に三菱一号館とか、あるいはニコライ堂を設計しております。現存しているものは非常に少ないですが、東京都にしか現存しておりません。古河庭園などは昔のまま残っているわけでございますけれども、東京都以外で残っておりますのは、この桑名の六華苑だけでございますので、建築好きの方にもおいでいただけるというような場所になっております。非常に落ち着いたいい所で、和と洋が廊下で結ばれておりまして不思議な空間で、庭もとてもきれいでございます。ぜひ皆さんもおいでいただきたいと思っております。

2ページ目、最後でございますが、三重県はプロモーションをこれからしっかりやっていこうということで、今年の4月に推進本部、そして県庁内の組織もつくりまして、観光でございますとか、あるいは農産物などの県産品、伝統工芸品、移住、企業誘致、すべてを総合するような形で、プロモーションをしていこうということで組織をつくりました。そして推進方針というのを作ってやっているところでございます。フィルムコミッションを活用しまして、三重県のハイライト化をしっかりやっていきたいと思っています。以上でございます。

座長　中野市長

一見知事ありがとうございました。

名古屋市さんは特段ご発言はよろしいですか。

名古屋市
　はい。

座長　中野市長
　それでは、各県からご発言をいただきましたけれども、この内容につきまして意見交換をさせていただければと思います。ご意見があります方、どうぞご自由にお願いいたします。
　各県ともなかなか素晴らしい、タイトルだけ見ましても面白い、面白かった映画なりがたくさん撮影されていますし、写真などで見ましても本当に絵になるロケポイントが多数あるということで、ぜひともこれも各県だけでなく、連携をさせていただくことによって、より良い作品につながって、それがまた作品を見ていただいたうえで、現場を見に来ていただく方につながってくるのではないかと思いますので、ぜひともこの映像コンテンツの活用ということにつきましては、各県市の取り組みを共有させていただきつつ、連携の強化をさせていただければと思っておりますけれども、いかがでございましょうか。

一見知事
　国で働いていましたときに国交省のほうでフィルムコミッションの内閣府の会議に参加をしておりました。これはどちらかというと、県というよりは浜松市さんのように基礎自治体の方々が一所懸命やっておられました。そのときは北九州市。あそこも熱心にやっておられます。で、お話をいただいております。
　やはり映画を見た人だけでなく、いろんな人の心に刺さっていきますので、多くの観光客が来ると思います。
　私どもからも提案をさせていただきました観光地、これとやはり結びついて、聖地だけではなくて、その機会に別の観光地も見ていこうということで、広がりは出てくると思いますので、そういった連携もこれから考えていけばいいのかなと思っております。

座長　中野市長
　ありがとうございます。
　単純にフィルムコミッションの連携だけでなく、観光の視点から幅広い連携をさせていただければと思っております。そういうことでよろしいでしょうか。

一見知事
　はい。

座長　中野市長
　では、今後はそのようにさせていただければと思っております。よろしくお願いをいたし

ます。

時間がなかなか足りなくて申し訳ないですけれども、協議・意見交換については以上とさせていただきまして、あとその他の議題についてでございます。

まず報告事項でございますけれども、昨年のこの会議で合意いたしました内容の報告につきましては、お手元に資料をお配りさせていただいているかと思います。大変恐縮ではございますが、時間の都合上、その資料の配付を持って変えさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

(3)PR 事項

座長　中野市長

続きまして PR 事項ということで、本日はさまざまな資料を各県の皆さまからご用意いただいていますので、順に PR ということでお願いをしたいと思います。

それではまず、愛知県大村知事からお願いをいたします。

大村知事

お手元に資料のチラシが 3 つございます。3 点申し上げたいと思います。

まずはこちらの愛知発、日本の休み方が変わる「休み方改革」でございまして、これは全国知事会でも「休み方改革プロジェクトチーム」を作って、7 月の全国知事会議でも申し上げました。その前後でも各省庁、経団連、日本商工会議所、経済同友会の経済界の皆さん、それから連合本部にも休み方改革の要請をしてまいりました。

ぜひ、先ほど申し上げましたが、私ども 11 月 27 日が愛知県創立記念日ということで、昨年は県政 150 周年をさせていただきました。それを機に条例を通しまして、この 11 月 27 日を「あいち県民の日」として指定をし、11 月 21～27 日の 1 週間を「あいちウィーク」といたしまして、その間の平日 1 日を小中高の学校を休みにしてもらうということで今年度からやります。

県民の日の学校を休みにするのは、東京都をはじめ関東の 6 都県だけということでございまして、私どもは 7 番目ということになりますが、全国知事会でも申し上げましたが、ぜひ各県さんでそれぞれまた工夫して取り組んでいただければ、それを全国各地が互い違いに平日を休みにして、お互い観光と言いますか、校外学習で家族でいろんな所へ行っていただくことがいいのではないかということでございますので、何とぞよろしくお願いを申し上げたいと思っております。

続いて 2 つ目はジブリパークのチラシでございます。これも先ほど申し上げました 11 月に「もののけの里」、来年 3 月に「魔女の谷」が開園いたします。ぜひまた多くの皆さんにお越しいただければと思いますし、岐阜県さん、三重県さん、浜松市さん、名古屋市さん、皆さんまた行政の視察も歓迎いたします。お時間を取っていただければご案内いたします

ので、よろしくお願いいたします。
　なお、県会議員さん、市会議員さんも行政視察を受け入れていますので、またぜひお越しいただけたらと思っております。実際予約を取ろうと思うと 3 カ月先になりますので、よろしくお願いいたします。
　最後に、技能五輪全国大会、障害者の技能競技大会である全国アビリンピックを 2023 年 11 月から 3 年連続で愛知県の Aichi Sky Expo で開催をすることを決定いたしております。やはり愛知県は技能士が日本で一番多く、参加選手も一番多くて、金メダルもずっと十何年優勝しておりますので、これからは技能の甲子園だと。甲子園大会は東京でやってないと。ぜひ技能の中心愛知でやって、若い技能士をみんなで応援しましょうということにしておりますので、何とぞよろしくお願いいたします。またぜひお越しをいただければと思います。

座長　中野市長
　ありがとうございました。
　続いて一見知事からお願いいたします。

一見知事
　ありがとうございます。
　私から配付をさせていただきました資料に基づきまして、2 点お知らせを申し上げたいと思います。1 つは先ほどの観光地づくりのところでも申し上げましたけれども、三重テラスのリニューアルオープンです。三重テラスは、日本橋にありますが、これは開設してから 10 年を迎えます。内装を大きく変えておりまして、1 階と 2 階がございますが、2 階に誰でも入れるようなコワーキングスペースを設けております。1 階は店舗とレストランでございます。三重県らしいこととして、季節感のあるものを展開しようということで、中で提供いただく事業者さんを今回新たに選びまして、リニューアルオープンをいたします。
　9 月 16 日、私も参りますけれども、9 月 16 日から 3 日間やりまして、10 月 1 日までさまざまな企画を継続してやることになっております。1 日店長ということで湘南乃風の SHOCK EYE さんにおいでになっていただいて、三重県の魅力を語っていただく。糸井重里さんにもおいでいただくとか、さまざまなイベントをやっていります。ぜひ東京に行かれた際には、三重テラスを訪ねていただけるとありがたいと思っております。
　もう 1 点は、高畑勲さんの展覧会でございます。三重県伊勢の出身の方でございまして、開いていただきますと『アルプスの少女ハイジ』ですとか、ジブリ作品では『火垂るの墓』とかつくられた方でございます。現在は県の総合博物館におきまして「高畑勲展」、間もなく終了いたしますので、ぜひご覧になっていただければと。『かぐや姫』などもアニメーションで残しておられる方でございますので、よろしくお願いをしていただきたいと思います。以上でございます。

座長　中野市長

ありがとうございました。

岐阜県さんからは、先ほど古田知事からご紹介いただきました「国民文化祭」の資料をご覧いただいておりますので、またご覧いただければと思っております。

それでは、大変駆け足となりまして恐縮でございますけれども、本日予定しておりました議事は以上となります。

これをもちまして、令和 5 年度東海三県二市知事市長会議を終了させていただきます。円滑な進行にご協力をいただきまして、誠にありがとうございました。